

BILZARD
ENTERTAINMENT

#6



OVERWATCH™

トールビョーン



破壊者

MICKY
NEILSON

GRAY
SHUKO



トールビョーン 破壊者

作者

MATT BURNS

翻訳/編集

YUKI NISHIO

原画・カラー

NESSKAIN

活字デザイン

RICHARD STARKINGS AND COMICRAFT'S JOHN ROSHELL AND JIMMY BETANCOURT

アート編集者

LOGAN LUBERA

編集

ROBERT SIMPSON AND CATE GARY

カバー

GRAY SHUKO

グラフィック デザイナー

JOHN J. HILL

クリエイティブ コンサルタント

CHRIS METZEN, ARNOLD TSANG, BILL PETRAS, MICHAEL CHU

ストーリーコンサルタント

SEAN COPELAND, JUSTIN PARKER, EVELYN FREDERICKSEN

プロデューサー

RACHEL DE JONG, MICHAEL BYBEE, JEFFREY WONG

プリザード クリエイティブ ストーリーディレクター

JAMES WAUGH



“我は死神なり、世界の破壊者なり”

— ロバート・オツペンハイマー —

キ

ナ臭い場所じゃ

下水道だから臭いのは当たり前なんじゃが。マスクがあつてよかったわい。何よりも、不確定要素が多いのが気に入らん...

通常なら何とも思わん。むしろ不確定要素は大歓迎なんじゃが...

今回は明らかに“通常”じゃないからう

BOOOM

地上の標的は近いな

さて、ワシの計算が正しいければ...いい加減、この下水ともおさらばしたいところじゃ

いかんせん情報を得たのが昨日じゃからな...策を練る暇もなかったわい

ニュースによれば、クルジクスタンの首都ボクロボガオムニックの襲撃に遭った。しかも、相手は1体のオムニックじゃと

“たかが”1体
と思ったが

されど
1体じゃ





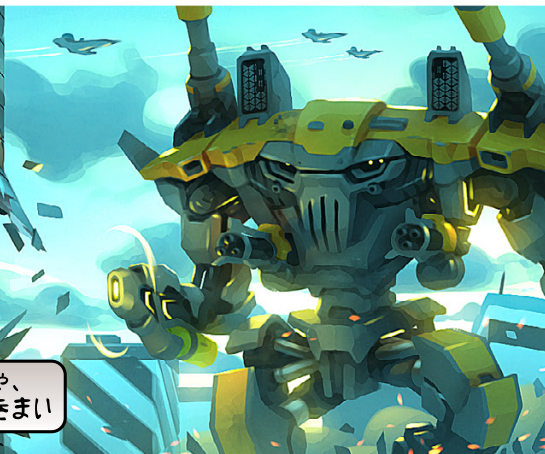
歩くスカイスクレイパーといったところか。こいつはただのオムニツクじゃない、タイタンじゃ。しかもご丁寧に改良までされちよる



脅威をいち早く検知し、排除する...

ぐわああ!!!

クルジクスタンの兵士じゃ、こいつを止めることはできまい



じゃが、ワシはこのの死角を知っておる

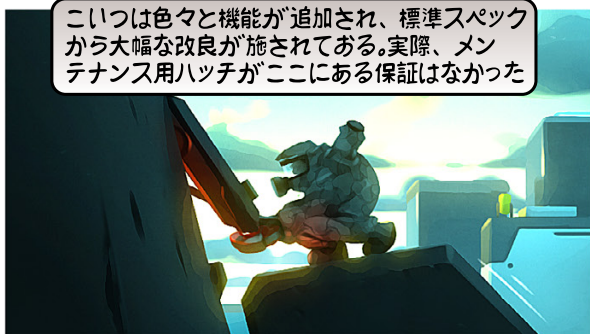
ここまで近づく必要はあったがのう。こいつはボクロボを破壊することしか頭にない。進路は大方予想がつくってわけじゃ

これ以上の犠牲者を出す前に、こいつを無力化せねば



タイタンの熱感知に死角はない...そこでワシのIRシールドの出番。今のところ順調じゃのう

仮に他の誰かがここまでたどり着いたとしても...侵入方法を探しているうちに木っ端みじれじゃ



こいつは色々と機能が追加され、標準スペックから大幅な改良が施されておる。実際、メンテナンス用ハッチがここにある保証はなかった



そもそも、なぜワシがこのの死角やハッチについて知っているかって?そいつは...

ワシがこのの設計に加わっていたからじゃ

アイアンクラッド・ギルド時代、ワシはこいつの研究と開発に多くの時間を費やした。タイタンは都市を壊すためではない...造るために設計されたんじや

オムニック・クライシスの際に、ブリキ共がタイタンを兵器化しよった。こいつは更なる改良が加えられているが...これはオムニックの仕業じゃない。そしてこんなことをできるのは一人しかおらん

これで相手はだいたい予想がついたわけじやが...あとは動機を突き止めるのみ



ドローンか。ブリキ共が内部の警備用に作ったんじやな。まったく、気高きタイタンを冒とくしよって



ええい。タイタンが足を踏み出すたびに胃が浮いてかなわんのつ



マイクロ・スラスターでアップグレードされちよる。見覚えがあるわい



なんだ？お前が、ツールビヨン？

何のつもりだ？何をしにきた、ツールビー？



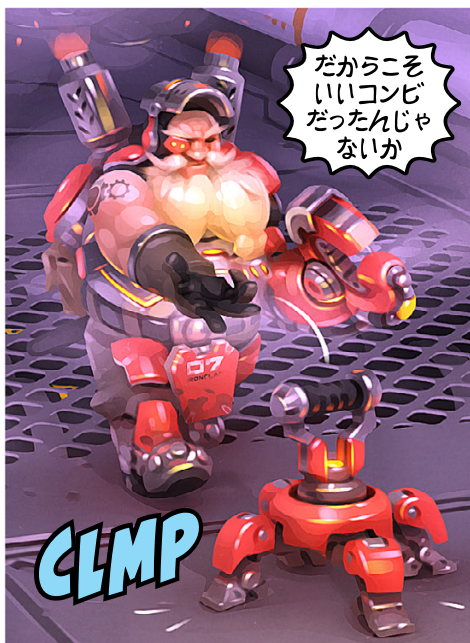
ワシをそう呼んでいいのは友人だけじや

冷たいな！そいや親友ってわけじゃないが、一緒に仕事をした仲だろう。いいコンビだった



お前は障害を真正面から潰すことが得意だった

貴様は抜け道を探すことしか考えていなかった。技術者の仕事は障害を避けることではなく、解決することじゃろうが



だからこそいいコンビだったんじゃないか

CLMP

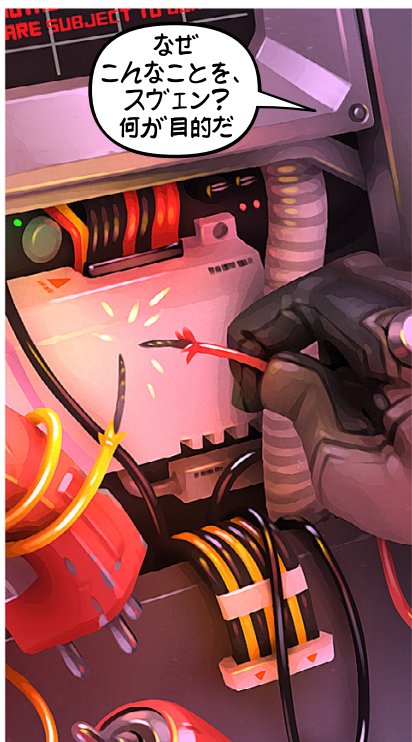


CLNKT

THNKT



防衛システムは自動化されている。勝ち目はないぞ



なぜこんなことをスグエン？何が目的だ

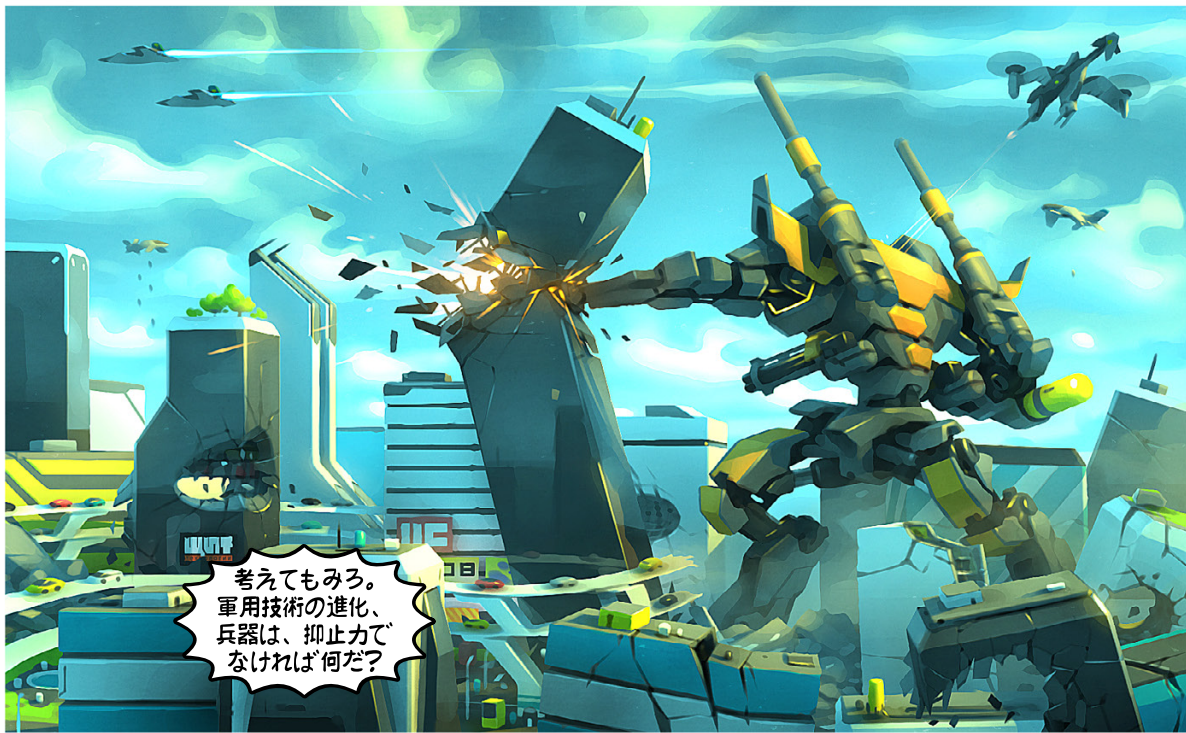


俺の目的はな...旧友よ...種の存続だ

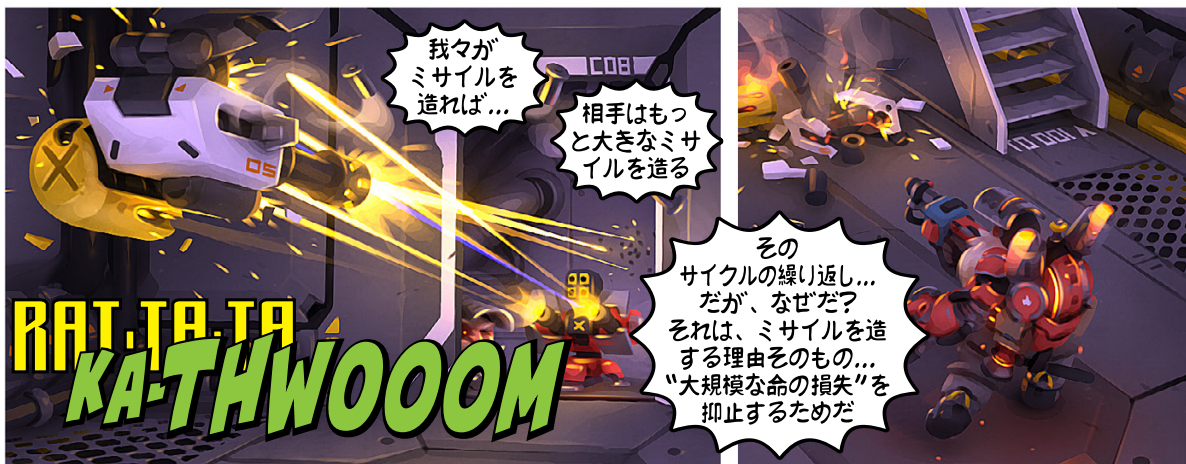
SHNK

RAT-TA-TA-TA

そうかい。やっぱ貴様は大バカ者じゃ



考えてみろ。
軍用技術の進化、
兵器は、抑止力で
なければ何だ？



我々が
ミサイルを
造れば...

相手はもつ
と大きなミサ
イルを造る

その
サイクルの繰り返し...
だが、なぜだ？
それは、ミサイルを造
る理由そのもの...
"大規模な命の損失"を
抑止するためだ

RAT TA TA
KA-THWOOOM



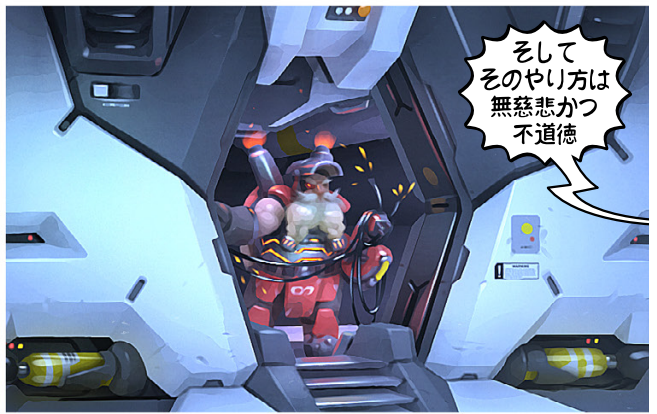
己を消し去る
力を持っている
相手に、喧嘩を
仕掛ける国
などいない



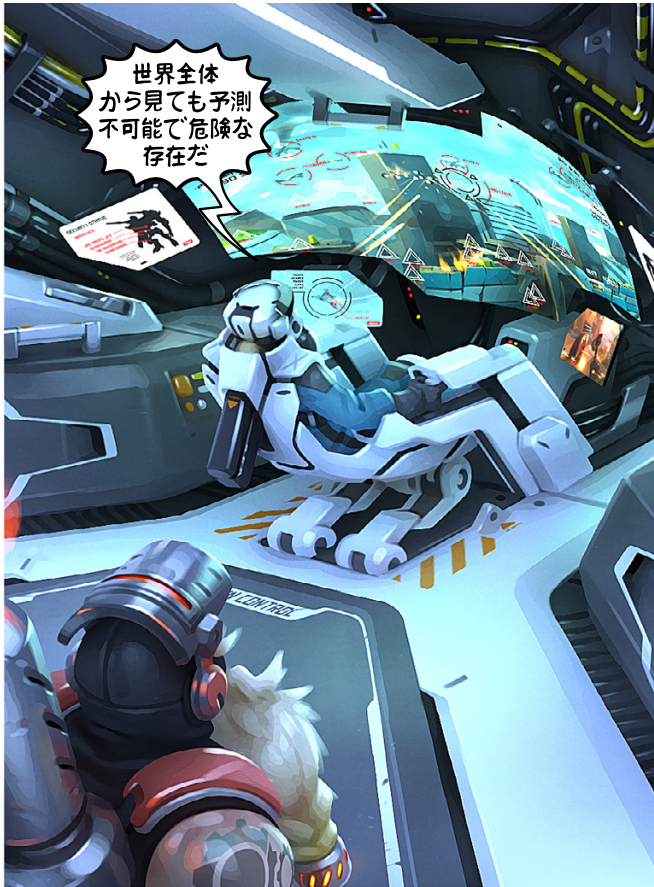
ハルマゲドン
へと続く扉を
開きたがる者
などいない



クルジク
スタンは領土拡張に固執している
腐敗した独裁
国家だ



そして
そのやり方は
無慈悲かつ
不道徳



世界全体
から見ても予測
不可能で危険な
存在だ



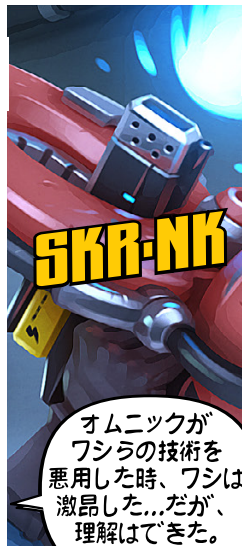
それを俺がたった今
叩き潰した

これはデモンストレーションだ。
俺が造り上げたこの究極兵器が
誠実な政府の手に渡れば...
結果として、多くの命を
救うだろう

で、その誠実な
政府とやらは、いくら
払えばこれが手に
入るんじや?



ベラベラと大した
演説をしても、つまるところ
貴様は金儲けの
ことしか考えていない
クズじゃ!



SKR-NK

オムニックが
ワシらの技術を
悪用した時、ワシは
激昂した...だが、
理解はできた。



奴らは
機械
じゃ。

ぎゃあああ!!



END